



平成 30 年 10 月 26 日

各 位

会社名 株式会社ピクセラ
代表者名 代表取締役社長 藤岡 浩
(コード番号 6731)
問合せ先 取締役 池本敬太
(TEL 06-6633-3500)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 11 月 14 日に公表いたしました平成 30 年 9 月期（平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成 30 年 9 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,512	52	27	14	0.29
今回修正予想 (B)	2,551	△1,004	△1,029	△1,047	△20.64
増 減 額 (B-A)	△961	△1,056	△1,056	△1,061	
増 減 率 (%)	△27.36	—	—	—	
ご参考：前期実績 (平成 29 年 9 月期)	2,423	19	18	7	0.21

2. 修正の理由

収益の減少は主に、平成 30 年 9 月期第 4 四半期に予定していた新製品 4KSmartTuner (PIX-SMB400) の納品・売上計上が、製造委託先の都合による生産スケジュール繰り下げにより翌第 1 四半期に期ずれする事によるものです。これは、既に受注が確定している大手家電メーカー 2 社向けの OEM 製品及び量販店向け自社ブランド製品の売上約 14.6 億円であり、平成 31 年 9 月期第 1 四半期に計上される予定となっております。また、その他既存の事業につきましても、市場開拓が進まず約 5 億円の未達となりました。これらの結果、売上高は、平成 30 年 5 月に子会社化しました A-Stage による約 10 億円の上乗せ等があったものの、当初の予想値より 9.6 億円の減少となりました。

一方、利益面につきましては、上記の売上減少によるもののほか、4K 関連製品の開発コストが開発期間の延伸に伴い大幅に増加したことや M & A 関連費用の発生などの影響により、当初予想を 10 億円下回る結果となりました。

当社は AndroidTV™ をベースプラットフォームとした 4K 関連製品の開発資産を最大限に活かし、本年 12 月 1 日より開始される新 4K 衛星放送をより多くの方に楽しんでいただける革新的な製品を日本全国に展開してまいります。

※上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しており、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。

以 上